2006年1月31日

各　　位

会　社　名　**アステラス製薬株式会社**
代　表　者　代表取締役社長　竹中　登一
コード番号　４５０３
（URL　　http://www.astellas.com/jp）
東証・大証・名証（各第一部）、札幌
決　算　期　3月
問合わせ先　広報部長　　田中　昭弘
Tel：（０３）３２４４－３２０１

スイス フェリング社の医療用医薬品　前立腺癌治療剤「デガレリクス」に関するライセンス契約のお知らせ

アステラス製薬株式会社（本社：東京、社長：竹中　登一、以下「アステラス製薬」）は、この度、スイスの医薬品会社フェリング社（本社：ローザンヌ、Executive Chairman: Frederik Paulsen ）より、同社が創製し開発中の前立腺癌治療剤「デガレリクス」の日本での前立腺癌に関する独占的開発・販売権を取得するライセンス契約を締結しましたので、お知らせします。

「デガレリクス」は、ゴナドトロピン放出ホルモン（Gonadotropin releasing hormone; ＧｎＲＨ）受容体拮抗作用を有する１ヶ月／3ヶ月持続型徐放性注射剤です。ＧｎＲＨは脳の視床下部で産生されるホルモンで、男性ホルモンの一つであるテストステロンの産生に関わっています。テストステロンは前立腺の機能維持・成長のために必要なホルモンですが、前立腺癌においては癌細胞を増加させ、症状を進行させてしまいます。これに対して「デガレリクス」は、下垂体にあるＧｎＲＨ受容体を阻害することによってテストステロンの分泌を低下させ、その結果前立腺癌の増殖を抑制する作用があります。

このたびの契約締結に伴い、アステラス製薬は、日本における本剤の前立腺癌に関する独占的開発・販売権を取得しました。アステラス製薬は、フェリング社に対して契約締結時ならびに開発・販売の各段階において一時金を支払うとともに、製品の売り上げに対してロイヤルティーを支払うことになります。日本では既にフェリング社の子会社であるフェリング・ファーマ株式会社により第Ⅰ相臨床試験が行われていますが、本契約締結に伴い、第Ⅱ相臨床試験よりアステラス製薬が臨床試験を行うことになります。当社は、泌尿器領域を国内における重点領域と位置付けておりますが、デガレリクスが新たに加わることにより、同領域における事業基盤を更に拡大できるものと期待しています。

フェリング社は、泌尿器、産婦人科、消化器、内分泌領域に特化した医薬品の研究開発・製造・販売を行っている製薬企業です。同社は現在、欧米において同剤の前立腺癌を対象とした3ヶ月製剤の第Ⅲ相臨床試験を実施しており、1ヶ月製剤についても第Ⅲ相臨床試験を準備中です。

以　上